



らぶっく La·BOOK

3月号

No.69

新しい三郷図書館 3月10日(土)待望のオープン!



三郷交流学習センター『ゆりのき』内にある三郷図書館は、広々としたカウンター前や中央通路、キッズコーナー等、全体的にゆったりとした空間が創り出されています。



蔵書数は約4万冊で、多種多様な本を見るだけでも楽しいひと時がすごせます。今後は、2020年度までに5万3千冊を目標に少しずつ増冊していきます。

書架側面にオリジナルデザインされた『ゆりのき』も、是非見ていただきたいと思います。

設備面では、自動貸出機2台、検索機(オパック)3台、AV視聴機と利用者用PCが各4台ずつ設置され、利用の効率化と利用内容の充実化が図られました。

その他にも、交流学習センターは、展示ギャラリー、学習室(2室)、地域学習室、自習室、カフェコーナーが併設された複合施設です。多くの皆様のご利用をお待ちしております。



明科図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

旧明科町町歌 「わが町」を聴きたい

安曇野市制10周年の折、市歌「水と緑と光の郷」が制定され、耳にする機会も多いかと思えます。

旧明科町には、独自の町歌がありました。1982(昭和57)年の町制25周年に制定された町歌「わが町」は、同じ東筑摩郡出身の上條恒彦さんによって作詞・作曲され、当時上条さんが歌ったレコードが全戸配布されました。

「わが町」は、学校や町の行事で歌われるだけでなく、オルゴールバージョンが防災行政無線の放送開始を告げる音楽として、つい3年ほど前まで毎晩、明科地区の各家庭に流れていました。

現在でも明科の小学校2校では、「わが町」が歌われています。また図書館に音源を求める方がよくお越しになり、今でも多くの方に愛されていることがわかります。残念ながら上条さんが歌ったものは所蔵がなく、歌い継いで行こうと活動される「和みコーラス会」の皆さんが歌うものを収録したDVDがあります。

<関係資料>

DVD「明科に響きわたる『信濃の国』音色と風景・押野獅子舞」

押野祭囃子・獅子舞事務局 2012年
『町報あかしな縮刷版創刊号～200号』

明科町 1989年

私と図書館

一冊の本

吉田 道昌

一冊の本が小学生の僕をとりこにした。戦後四年目だった。本の名は「ロビンソンクルーソー」。無人島に漂着したクルーソーは、山羊を飼って小麦を植え、オウムを友にして二八年を島で暮らした。生きるために必要な力をすべて自分の中から引き出して生きた。この本から読書への没入が始まった。

「十五少年漂流記」「宝島」「巖窟王」「フアーブル昆虫記」「シートン動物記」等、未知の世界に胸が躍る。一九六〇年、教職についた。先輩がルソーの小説「エミール」を読むように薦めた。エミールという子の出生から青年期までをつづる小説だ。エミールが初めて本を読む時が来る。その本は、「ロビンソンクルーソー」だった。クルーソーは人生に寄り添う。「エミール」の中に、こんな文があった。「灼熱の砂に足を焼いたことがないとしたら、どうして美しい朝の新鮮な空気を味わうことができないだろうか」



2月貸出ランキング

一般書

- 1 九十歳。何がめでたい／佐藤愛子
- 〃 火花／又吉直樹
- 〃 ラプラスの魔女／東野圭吾
- 4 祈りの幕が下りる時／東野圭吾
- 5 人生がとぎめく片づけの魔法 2／近藤 麻理恵
- 6 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 素敵なお日本人／東野圭吾
- 〃 人魚の眠る家／東野圭吾
- 9 RDG／荻原 規子
- 〃 あたしんち 2／けらえいこ 他

児童書

- 1 しろくまちゃんのほっとけーき／わかやまけん
- 2 あっちゃんあがつく／みね よう
- 〃 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 4 おばけのてんぷら／せなけいこ
- 〃 おみせやさんでくださいな！／さとうしのぶ
- 〃 ばいばい／まついのりこ
- 〃 バムとケロのそらのたび／島田ゆか 他多数

AV資料

- 1 おじゃる丸／満月ロード危機一髪タマにはマロも大冒険／大地 丙太郎
- 〃 コクリコ坂から／宮崎吾朗監督
- 〃 パケモノの子／細田守監督
- 4 カーズ／ジョン・ラセター監督
- 〃 岳／片山 修監督
- 〃 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督 他多数

2018年本屋大賞/ミネート!

大賞発表は4月10日(火)

- 『AX アックス』(伊坂幸太郎/KADOKAWA)
- 『かがみの孤城』(辻村深月/ポプラ社)
- 『キラキラ共和国』(小川糸/幻冬舎)
- 『崩れる脳を抱きしめて』(知念美希/実業之日本社)
- 『屍人荘の殺人』(今村昌弘/東京創元社)
- 『騙し絵の牙』(塩田武士/KADOKAWA)
- 『たゆたえども沈まず』(原田マハ/幻冬舎)
- 『盤上の向日葵』(柚月裕子/中央公論新社)
- 『百貨の魔法』(村山早紀/ポプラ社)
- 『星の子』(今村夏子/朝日新聞出版)

編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111
- 豊科図書館 ☎71-4022
- 三郷図書館 ☎76-3078
- 堀金図書館 ☎72-3601
- 明科図書館 ☎62-1122

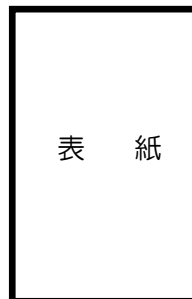
図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

堀金図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

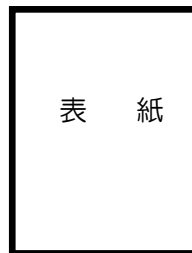
『遺伝子はダメなあなたを愛してる』



福岡伸一／朝日新聞出版
 昆虫好きで、ドリトル先生にあこがれた著者が、読者からの生活のふとした疑問、質問(質問の主も著者)に、豊かなユーモアで生物学的視点によって答えていく形式で書かれている優しい生命の話です。読み終わった後、自分の知識が深くなったような気にさせてくれる本です。

児童書 『ポップコーンをつくろうよ』

トミー・デ・パオラ 作 福本友美子 訳
 ／光村教育図書



映画館や遊園地で人気のおいしいポップコーンは、いつ頃から食べられていたのでしょうか?

なんと、5000年以上前のアメリカ大陸にまでさかのぼるんですよ。当時の人々はどんな方法で食べていたのか、なぜ火にかけるとはじけるのか…など、意外に奥が深いポップコーンのひみつを追いかけてみましょう。

読んだ後は、ポップコーンが食べたくなること間違いなし!

本の表紙

※編集後記※

三郷図書館が開館し、市内5図書館がすべて整備されました。平成30年度は、現在策定中の「第2次基本計画」に基づいて、「知と心がみだされる図書館」を目指しています。それぞれの事業を計画的に推進し、充実したものにしていきます。みなさんの「本のあふむ生活」が、より豊かになりますように...

